

令和6年度 河川内の樹木伐採について

富士川を適切に管理することを目的に、河川内の樹木伐採を検討しています。皆様の把握している生物等の情報や意見をお聞かせください。



河川内に繁茂する樹木

どうして、樹木の伐採は必要なのか？

理由その1

・樹木が洪水時の**流れを阻害**します。

↓ (流れを悪くします。)

・流れが悪くなると、

①上流側で、**水位が上昇**します。

②川底に**土砂が溜まり**やすくなり、更なる流れの阻害を誘発します。



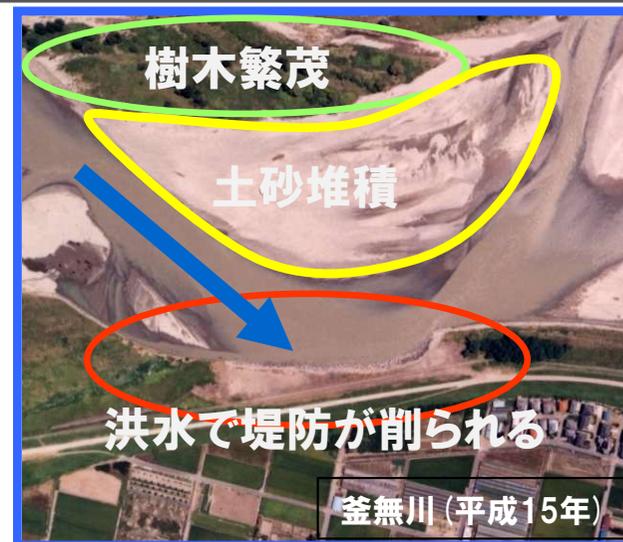
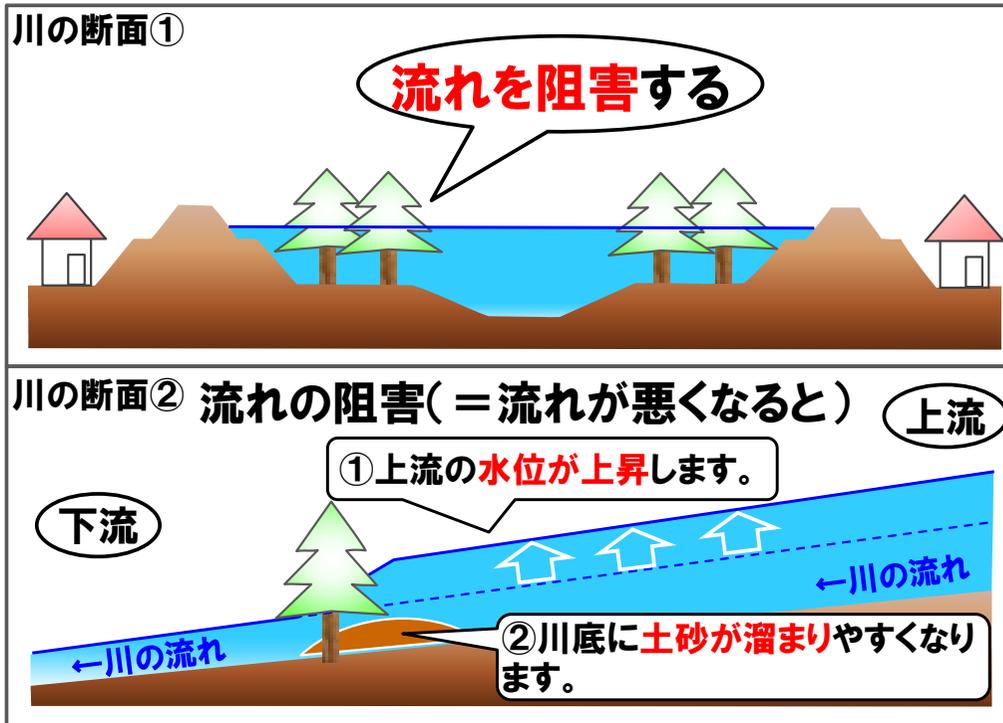
・その結果・・・河原が固定化します。



・中小規模の洪水でも、**堤防や河岸が急激に削られる流れ**を生じる恐れがあります。



・**堤防が決壊**して住宅地に洪水が溢れ出し、**浸水被害**が発生する恐れがあります。



理由その2

河川の状態を把握する巡視、河川監視カメラでの監視の支障や流量観測の障害となります

① 河川の管理は、河川巡視、河川監視カメラ等により行います。



河川巡視の状況



河川監視カメラ

② 樹木が繁茂すると、河川の様子が見えにくくなります。



河川監視カメラの映像

③ 河川の様子が見えにくくなると、

1) 台風による出水等の緊急時

水位の上昇などの河川の様子が確認できず、堤防が削られている状況等の、危険な状況の発見が遅れます。

2) 日常管理

ゴミの投棄などの不法行為がされやすくなる。

投棄されたゴミ



④ 樹木を伐採することにより、



河川監視カメラの映像

河川の様子の把握が容易となり、

1) 台風による出水等の緊急時に、堤防が削られている等の危険な状況の発見を早めます。

2) ゴミの投棄などの不法行為を予防します。

理由その3

倒れた木が流木となった場合、**下流の堤防・橋梁等の施設に悪影響**を及ぼします。



倒木により堤防へ影響



倒木が流木となり下流の施設へ影響

理由その4

自治体等から要望があります。

- **地元の方々の洪水時の不安を解消するため**
- **防犯上の危険を解消するため**

等々

以上の理由から樹木の伐採が必要です。

樹木の伐採にあたっては、伐採方法を工夫して実施します。

詳しい説明は・・・

- 樹木伐採の手順について(箇所選定から施工まで) 6
- 参考:伐採樹木の代表:ハリエンジュとは? 7
- 参考:ハリエンジュの繁茂状況について 8
- コスト縮減について 9

樹木の伐採に関する問い合わせ先



甲府河川国道事務所 河川管理課 河川維持係

■住 所:山梨県甲府市緑が丘1-10-1

■電 話:055-252-8888 (FAX 055-252-8891)

樹木伐採の手順について(箇所選定から施工まで)

手順①

管内の河道内において樹木伐採を行う必要がある箇所を抽出し、各箇所の概ねの面積、樹木種類・本数等を調べる。

手順②

抽出箇所から必要性等の高い箇所を伐採予定箇所として選定する。

手順③

伐採予定箇所について、ホームページ、現地看板により、約1ヶ月間公表し、樹木伐採について**ご意見**を伺う。

皆様の把握している生物等の情報や意見をお聞かせください！

手順④

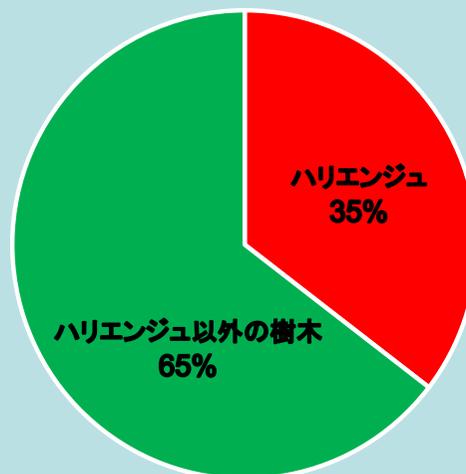
頂いたご意見や河川水辺の国勢調査結果等を参考に、各箇所において伐採方法等を工夫します。

樹木伐採の作業開始

参考：伐採対象樹木の代表・ハリエンジュとは・・・？

- 別名：**ニセアカシア**
- 明治6年に公園緑化樹として輸入された北アメリカ東部原産の樹木
- 栄養のないところ(貧栄養)でも良好に生育できます。
……➡ 治山・砂防の緑化樹として多用されてきました。
- 根は**広く浅く**成長し、根が少しでも残っていれば、
わずか**1～2年で再生**し、30年程度で腐朽し脆くなります。

富士川の河川内樹木は、約560haありますが、そのうちハリエンジュが占める割合は35%となっています。



※富士川河川現地調査結果(R3)より

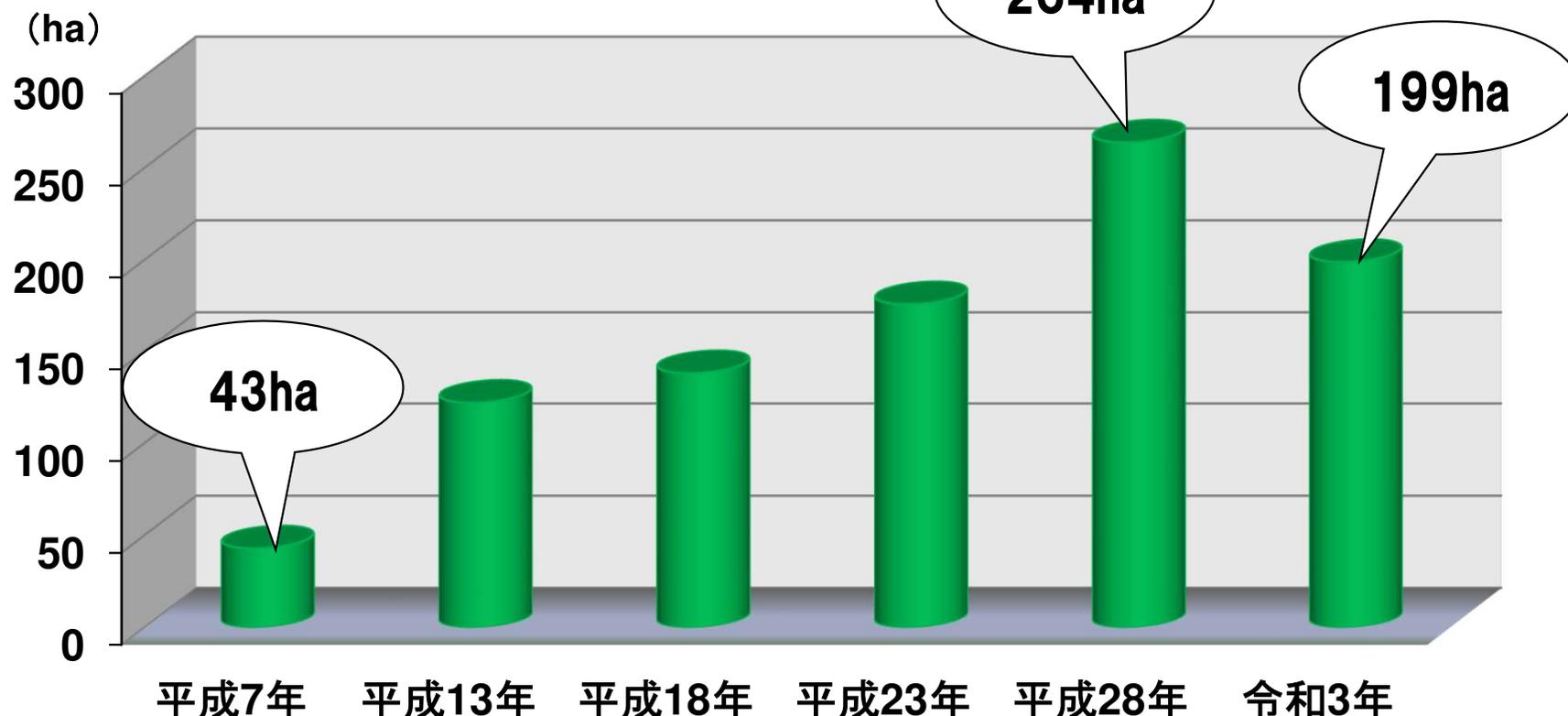


ハリエンジュ
(ニセアカシア)



花

ハリエンジュの繁茂状況



※富士川河川現地調査結果(R3)より

- 河川内樹木の中でハリエンジュの増加が著しい状況となっていました。樹木伐採を集中的に行った結果、令和3年度調査では平成28年度調査結果に比べて減少しました。
- ハリエンジュは数年で再生してしまうため、定期的に伐採を行うことが重要です。

コスト縮減について

- ・ 公募による樹木伐採について（下図①,②,③-1）

樹木の伐採をする希望者の募集を予定しています。

伐採した方には採取した樹木を持ち帰り活用いただきます。

樹木を伐採・処分する費用の縮減及び樹木の有効利用が図られます。

- ・ 伐採した樹木の無料配布について（下図③-2）

伐採した樹木の有効利用を図るため、希望者への配布を予定しています。

希望者へ配布することにより伐採木の処分費用の縮減及び樹木の有効活用が図られます。

※ 詳細については、後日、事務所HP等でお知らせする予定です。

図（伐採の流れ）

伐採対象選定



① 伐採作業



② 伐採完了



③-1 採取樹木
持ち帰り

③-2 無料配布



令和6年度 樹木伐採予定箇所 位置図

富士川上流出張所管内

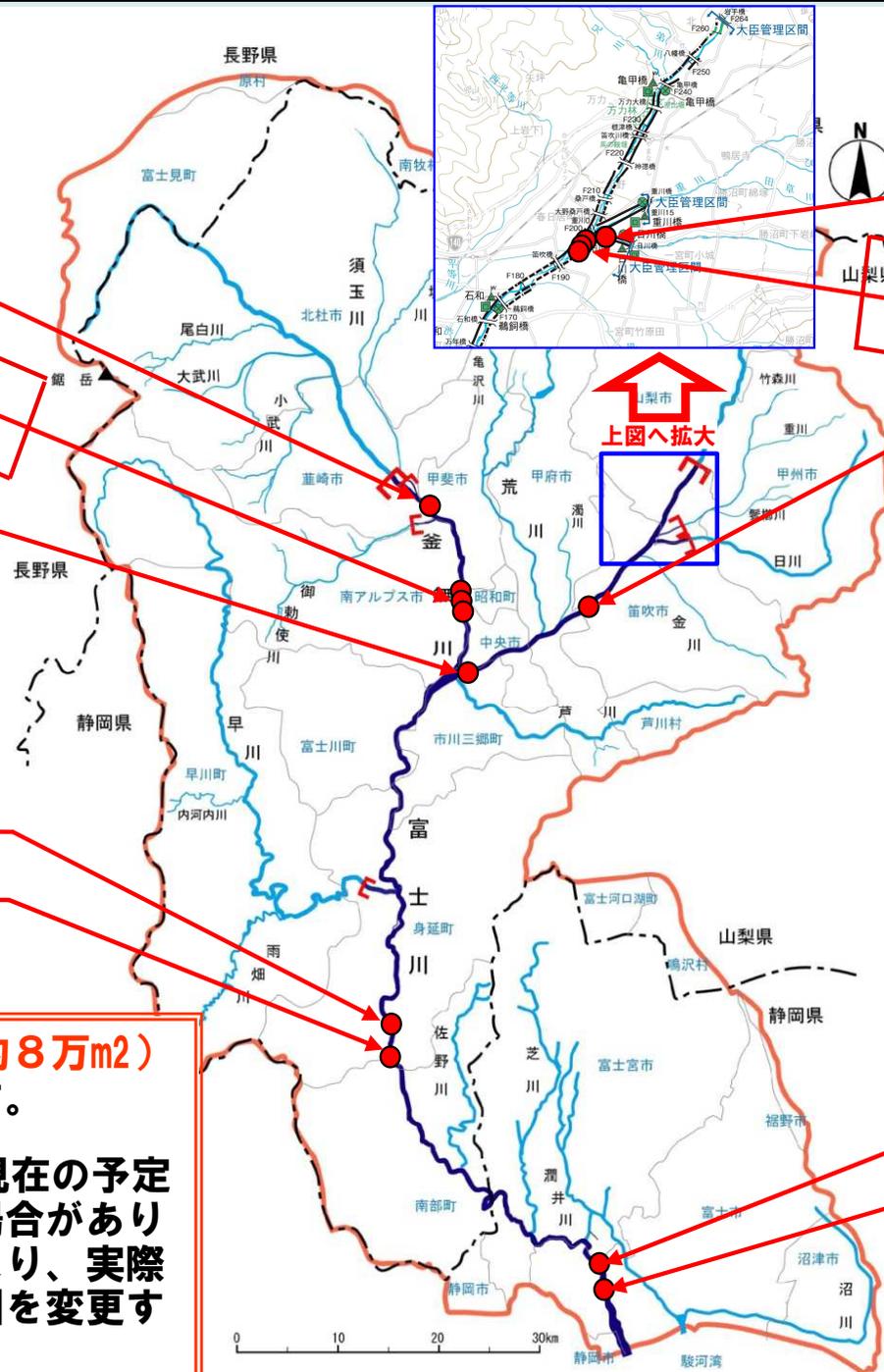
1. 甲斐市宇津谷地先
2. 中央市山之神地先
3. 南アルプス市鏡中條地先
4. 南アルプス市下今諏訪地先
5. 中央市今福地先

富士川中流出張所管内

1. 身延町和田地先
2. 身延町大島地先

令和6年度は、**14箇所（約8万m²）**について伐採を検討しています。

この情報は、令和6年6月現在の予定のため、施工時期は前後する場合があります。また、現地の状況等により、実際に伐採を行わなかったり、範囲を変更する場合があります。



笛吹川出張所管内

1. 山梨市一町田中地先
2. 山梨市大野地先
3. 笛吹市春日居町小松地先
4. 笛吹市一宮田中地先
5. 笛吹市石和町井戸地先

富士川下流出張所管内

1. 富士市木島地先
2. 富士市岩本地先

凡例 ● 伐採検討箇所